

平成28年度12月補正予算(案)の要点

12月補正予算(案)の基本的考え方

- ◎ 台風第16号等による被害に対する災害復旧事業及び災害関連事業に必要な経費を計上
- ◎ 国の補正予算に対応した事業に要する経費を計上
- ◎ 原子力問題検討委員会(仮称)の設置に要する経費を計上
- ◎ 公共事業及び県単公共事業の平準化等を図るため、債務負担行為を計上



補正額: 38, 213百万円


12月現計: 864, 700百万円

※ 対前年度12月現計比 +5.1%

平成28年度12月補正予算(案)の規模等

1 予算規模(一般会計)

(単位:百万円, %)

	H28(A)	H27(B)	(A)/(B)
当初予算額	822,457	814,313	+ 1.0
			
12月現計額	864,700	822,417	+ 5.1

2 主な歳入の状況

地方交付税	2,504百万円
国庫支出金	23,297百万円
県 債	11,337百万円
そ の 他	1,075百万円
合 計	38,213百万円

(参考)

- 県債残高(平成28年度末見込) 1兆6,489億円
平成27年度末残高(1兆6,447億円(決算))比 +42億円
- | | |
|---------------------------|-----------|
| 臨時財政対策等※を除いた残高 | 1兆1,414億円 |
| 平成27年度末残高(1兆1,535億円(決算))比 | △121億円 |

※平成19年度以降の減収補填債
- 県債の充当内訳
 - ・災害復旧等 2,916百万円
 - ・国補正予算対応 8,421百万円

3 主な歳出の状況

災害復旧等	10,257百万円
国補正予算対応	26,385百万円
そ の 他	1,571百万円
合 計	38,213百万円

平成28年度12月補正予算(案)の主な内容

● 災害復旧対策 10,257百万円

- ・ 災害復旧事業 7,007百万円
- ・ 公共事業による対応 2,032百万円
- ・ 県有施設災害復旧事業等 706百万円
- ・ 農業施設復旧支援事業 450百万円
- ・ 園芸産地再生産支援事業 61百万円
- ・ 赤潮被害緊急支援事業 1百万円

● 国の補正予算関連事業 26,385百万円

- ・ 公共事業 18,195百万円
- ・ 「燃ゆる感動かごしま国体」会場施設整備事業 580百万円
- ・ 森林整備・林業木材産業活性化推進事業 1,904百万円
- ・ ブリ人工種苗生産施設整備事業 673百万円
- ・ 畜産クラスター事業 3,399百万円
- ・ その他国補正関係事業 1,634百万円

● 原子力問題検討委員会(仮称)運営事業 3百万円

原子力発電所に関する諸課題について、技術的、専門的見地から意見、助言を得るため、原子力問題検討委員会(仮称)を設置

● 債務負担行為

公共事業及び県単公共事業の平準化等及び9月に長島町で発生した赤潮により被害を受けた養殖業者を支援するための経費を計上

- ・ 公共・県単公共事業(ゼロ県債) 2,362百万円
- ・ 漁業近代化資金利子補給事業 5百万円